

論文審査の要旨  
Summary of Dissertation Review

博士の専攻分野の名称 Degree	博 士 (学術 )	氏名 Author	JOHN LEE PAMPLONA CANDELARIA
学位授与の要件	学位規則第4条第①・2項該当		
論文題目 Title of Dissertation States and Stones: War Memorialization and Nation-Building in Twentieth-Century Southeast Asia			
論文審査担当者 Dissertation Committee Members			
主 査 Committee Chair	教授 片柳 真理	印 Seal	
審査委員 Committee Member	教授 吉田 修		
審査委員 Committee Member	准教授 ファンデルドゥース ルリ (人間社会科学研究科)		
審査委員 Committee Member	准教授 友次 晋介		
審査委員 Committee Member	教授 永井 均(広島市立大学広島平和研究所)		
〔論文審査の要旨〕 Summary of Dissertation Review			
<p>本論文は9章で構成される。序章では研究の目的、研究課題、研究の意義、研究方法、事例選択の根拠等が示される。第2章は記憶研究、クリティカル・ヘリティジ研究、東南アジアの戦争記憶と遺産に関する先行研究レビューである。第3章は概念枠組みと研究方法を論じる。第4章で東南アジアのナショナリズムと地域主義など、概念的、歴史的背景を説明し、第5章から第7章がそれぞれフィリピン、タイ、シンガポールの事例研究である。第8章で3つの事例を踏まえて議論を行い、第9章で結論を述べる。3事例の分析を通じ、国家が国内的な正統性を高めつつ、外交上の目的も追求するために戦争記念碑が利用されたことを論じ、他方、戦争の犠牲者に正義をもたらすことはなかったことを示している。</p> <p>審査は公開・非公開それぞれ1時間ずつ行われ、受験者は研究の独創性や事例の選択基準など、多くの質問に適切に回答した。審査委員からは、本研究が国家側の視点を明らかにしているのに対し、さらに国家の方針が国民によってどのように受け止められたかを研究することによって記念碑の利用による効果が導き出されることなど、今後の研究への示唆がなされた。</p> <p>なお、本受験者は7編の論文を公刊しており、論文提出要件を満たしている。</p> <p>以上、審査の結果、本審査委員会委員は、本論文が著者に博士(学術)の学位を授与するに十分な価値があるものと認めた。</p>			